

2018年7月25日

報道関係各位

中部学院大学

JICA 草の根技術協力事業（パートナー型）

ベトナム「ダナン市グハンソン地区の地区病院を中心とする 老年ケア・プログラムの定着と人材育成事業」が始動

中部学院大学（学長 古田善伯）では、**JICA**（独立行政法人国際協力機構、以下 JICA）**「草の根技術協力事業・パートナー型」**に採択され、ベトナムで**「ダナン市・グハンソン地区の地区病院を中心とする老年ケア・プログラム定着と人材育成事業」**に取り組むことになりました。

本学は、2015年から3年間、関市と連携し「ダナン市の看護職を対象にした老年ケア・キーパーソン養成事業（草の根技術協力事業・地域活性化特別枠）」を実施し、27名のキーパーソンを養成してきました。現地からは引き続き、技術支援をしてほしいという要望が上がったことから、同養成事業終了後、第二次プロジェクトの計画を立てました。

昨年度には、**JICA から「草の根技術協力事業・パートナー型（※1）」の選定**を受け、**今年10日、JICA と本学の間で正式に委託契約を結びました。JICA の同事業で、本格的な国際協力を行う大学は県内では初めて。**全国的にみても「老年ケア・プログラム」の技術支援を行うケースは少ないのが現状です。今回の事業は、**ベトナムの政府機関や医療機関をはじめ、JICA の期待も大きいのが特徴**です。プロジェクトでは、ダナン市グハンソン地区病院と4つの保健センターを中心に、**日本が高齢化の中で養ってきた老年ケアの知識や技術、施策を伝え、ベトナム版に改良した持続可能な「老年ケア・プログラム」を構築**していく予定です。実施期間は今年7月から2021年10月まで。

記

【プロジェクト開始式】

期 日： 2018年8月29日（水） PM2:00

場 所： ベトナム・ダナン市 グハンソン地区病院

参列者： ベトナム側 グハンソン地区病院長、ダナン市国際部長、ダナン市保健部長、グハンソン地区委員会委員長、その他病院関係者

日本側： 中部学院大学学長 古田善伯、
プロジェクトマネージャー 飯尾良英（中部学院大学 人間福祉学部長）

【経緯】

中部学院大学は、福祉、介護、看護、リハビリ、教育等高度専門職の養成を行っています。また、学校法人岐阜済美学院は創設以来、地域への貢献を大切に、地域の介護福祉施設、病院、教育機関などと連携してきました。そして、短期大学部を含めて 20,000 名を超える卒業生を福祉・介護・医療等の現場に輩出してきた福祉の伝統校です。そのノウハウを生かし国際貢献に寄与するため、関市と協力し、JICA 草の根技術協力事業（地域活性化特別枠）「ダナン市の看護職を対象にした老年ケア・キーパーソン養成事業」に取り組みました。（2015 年 9 月～2017 年 3 月）

この第一次プロジェクトでは、カウンターパートであるダナン医薬技術大学で、看護職を対象に日本式老年ケア講座を開講し、27 名の看護師資格者が受講しました。そのうち、10 カ月間の研修を受講して終了した受講生 25 名（うち通訳 1 名）が来日し、1 カ月間の滞在中、関市内の病院や高齢者施設に寝泊まりしながら、大学での講義、高齢者施設や病院等での実習を受けました。日本での研修を受けた受講者は、ベトナムで「老年ケア・キーパーソン」となり、職場の同僚や患者の家族に日本式ケアの理念や技術を伝達してきました。

現地からは引き続き、技術支援をしてほしいという要望が上がったことから、同養成事業が終了した昨年 4 月以降に、第二次プロジェクトの計画を立て、2017 年 8 月に JICA の採択を受けました。

第二次プロジェクトの大きな特徴は、ダナン市のグハンソン地区（人口 75,000 人）で地区病院を中心に 4 つの保健センターと協働し、高齢者、地域住民の健康と老年ケアのプログラムをつくり定着させることです。ここには、日本がこれまで経験し蓄積してきた、地域包括ケアの技術が活用されます。超高齢社会を経験している日本の技術をベトナムの社会に応じてアレンジすることを、ベトナムの人たちと一緒に取り組みます。

【草の根技術協力事業とは】（※1）

草の根技術協力事業は、国際協力の意志のある日本の NGO/CSO、地方自治体、大学、民間企業等の団体が、これまでの活動を通じて蓄積した知見や経験に基づいて提案する国際協力活動を、JICA が提案団体に業務委託して JICA と団体の協力関係のもとに実施する共同事業です。

<草の根パートナー型> 開発途上国・地域への支援活動実績を、2 年以上有している NGO などの団体（法人格を有する団体に限る）を対象としています。

独立行政法人国際協力機構「JICA」ホームページより

JICA 草の根パートナー型・採択案件一覧

検索

以上

（本件に関するお問い合わせ先）

中部学院大学 地域・産学連携課 担当：浅野

TEL:0575-24-2766 E-mail : asakao@chubu-gu.ac.jp

参 考 資 料

2. 事業名 ダナン市・グハンソン地区の地区病院を中心とする
 老年ケア・プログラムの定着と人材育成事業

3. 事業の背景と必要性

われわれは、2015 年から JICA 草の根技術協力事業（地域活性化特別枠）によりダナン市の看護師に日本式老年ケアを伝えた。しかし、老年ケアは看護師が個々の技術を高めるだけでなく、病院の医師、看護師などすべてのスタッフが、業務マニュアルを共有し患者に合わせた質の高いチームケアを提供する技術と仕組みが必要である。また、入院患者が退院後に自宅療養を続け、健康の回復、介護予防、生活の安定など「医療、介護、福祉の包括的連携」プログラムの整備が必要である。そこで、われわれは、ダナン市の中でも「老年科」を一番早くに開設したグハンソン地区病院で、ベトナムに予想される高齢社会のモデルとなる人材育成に取り組む。

4. 事業の目的

老年ケアに関わる医療関係者に専門性と技術トレーニングを提供することにより、他の病院や地域とも協調してグハンソン地区病院で老年ケアの包括的なシステムを構築し、持続的に実践される。

5. 対象地域 ダナン市グハンソン地区病院

6. 受益者層

直接裨益者：同地区病院と地域保健センターその関連施設に勤務する看護師、医師
間接裨益者：同地区病院と地域保健センターで療養および診療している高齢者

7. 期待される成果と指標

- － 同地区病院の 70 名の医療関係者を 3～5 のコースに組織し、追加の研修として 5 名が訪日研修を行う。
- － ベトナムの文化、状況に合わせて老年ケアの専門知識とスキルの応用をまとめたパンフレットを作成する。
- － 同地区病院老年科で老年ケア計画を作成し実行する。
- － 同地区で老年ケア研修から得た知識を適用する。
- － ダナン市の他の医療機関にこの老年ケアプロジェクトを普及させる。

8. 実施期間 2018 年 7 月 ～ 2021 年 10 月

9. 実施機関

- － 日本側：学校法人 岐阜済美学院 中部学院大学
- － ベトナム側：グハンソン地区病院

10. 主な活動

- 1-1 地区病院と地域保健センターの連携実態調査を行う。
- 1-2 グハンソン地区病院長が、「老年科」と地域保健センターの幹部の運営会議を開催する。
- 1-3 グハンソン地区病院で「老年科」医師・看護師と地域保健センター医師に老年ケア学習会を開催する。
- 1-4 グハンソン地区病院の医師、看護師及び老年ケア・キーパーソンと協働でベトナム社会に対応するベトナム版老年ケア・プログラムを作成する。
- 1-5 グハンソン地区病院、地域保健センターのスタッフに、現状の業務実態と改善の度合い等に対する業務についての評価や改善点など意識調査を行う。
- 1-6 老年ケア・キーパーソンとグハンソン地区病院看護師・医師、地域保健センター医師を日本へ招聘し老年ケア・プログラムの研修を実施する。
- 1-7 中部学院大学教員と関市内施設の専門職員を派遣し、老年ケア・プログラムの進捗状況と日本招聘研修参加者のアクションプランをモニタリングする。
- 2-1 グハンソン地区病院の医師、看護師と協力し老年ケア業務マニュアルを作成する。
- 2-2 グハンソン地区病院の医師、看護師と協力し食事・栄養改善、褥瘡予防、家庭介護などテーマ別にワークショップを開催する。
- 2-3 地域保健センターがマニュアルに沿って在宅指導を行えるようワークショップを実施する。
- 2-4 グハンソン地区病院「老年科」に入院している患者と家族に家庭でできる老年ケアについてセミナーを開く。
- 2-5 中部学院大学教員と関市内施設の専門職員が、現地の実情に合わせて改良されたマニュアルの評価を実施する。
- 3-1 グハンソン地区病院の看護師がアセスメント技術を習得し実践できるようワークショップを実施する。
- 3-2 グハンソン地区病院の看護師がアセスメントを基にケアプランを作成できるようワークショップを実施する。
- 3-3 グハンソン地区病院の看護師が患者と家族に対して在宅ケアの講習と指導が実践できるようワークショップを実施する。
- 3-4 入院前後に患者・家族へアンケートを取り、退院後のQOLの変化をモニタリングする。
- 3-5 中部学院大学の教員と関市内施設の専門職員が、実践指導と評価を行う。
- 4-1 他地区の病院やダナン市人民委員会、看護協会等の関係者を集め、老年ケア・プログラム普及促進連絡会を開催する。
- 4-2 グハンソン地区病院のスタッフが普及促進連絡会で老年ケア・プログラムの実例を発表する。
- 4-3 他地区病院からグハンソン地区病院の老年ケア・プログラムの視察を受け入れる。